

面積表	既定式は、原仕通管パイプの寸法を、図中記載の寸法で計算し、小数点第1位を切り、第2位を四捨五入して計算する。	試験場	氏名	あがね 監督
建群体積	(既定式) $42 \times 22 = 924$	924.0 m <sup>2</sup>	合算面積	6314.0 m <sup>2</sup>
最上階 (既定式)	$35 \times 22 = 770$	770.0 m <sup>2</sup>		
基準階 (既定式)	$42 \times 22 = 924$	924.0 m <sup>2</sup>		
1階 (既定式)	$42 \times 22 = 924$	924.0 m <sup>2</sup>		
倉庫等A	既定式は、倉庫等Aの合計床面積を、図中記載の寸法で計算する。	$700 \text{ m}^2 \times 5 \text{ 層} = 3500 \text{ m}^2$		

要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)~(7)を具体的に記述又は図示する。

(1) 基準階(貸事務室A、貸事務室B及び共用部)について、次の①、②の観点から配慮したこと

①収益性(レントラブル比に関する記述は除く。)や可変性

貸事務室A、貸事務室B共に無柱空間とすることで、広く空間と利用できるので収益性が高く、自由に間仕きれるので可変性も高い室とした。

②快適性やテナント及び利用者の多様性

貸事務室A、貸事務室B共に、南側に窓を多く設けて採光をとり、利用者の快適性に配慮した。

(2) 最上階(シェアオフィス、共用部及び屋上庭園)について、収益性や快適性、多様な働き方に対応可能な空間づくりの観点から配慮したこと

シェアオフィスのラウンジに屋上庭園を隣接して設け、シェアオフィスの利用者が休憩したり、利用者同士でのコミュニケーションをとったりする場所とした。

(3) 採用した構造種別と、その構造種別を採用した理由(無柱空間とするに当たり工夫したこと及び耐震性や経済性等について配慮したことを含む。)

採用した構造種別 (Oで囲む) 木造 ・ 鉄骨造 ・ RC造 ・ SRC造 ・ その他( )

採用した理由(工夫したこと等) :

耐震性に配慮してRC造で建設することとし、無柱空間を構成するためにPC梁を使用した上で梁せいを他材も高くし、PC梁を支える柱は800x1000mmの断面寸法とした。

(4) 貸事務室A及び貸事務室Bに採用した空調方式と、次の①、②の観点から配慮したこと

採用した空調方式 天井カセット型

①設備スペース(室内機、室外機、配管スペース等)の確保

室外機を置くための設備スペースを屋上の北側に配置し、各階の部屋に適切にPSを設けた。

②貸事務室A及び貸事務室Bの快適性

天井カセット型を空調に採用することで、貸事務室A及び貸事務室Bの天井高を2.8m確保し、利用者の快適性に配慮した。

(5) 貸事務室A及び貸事務室Bに採用した排煙方式と、その排煙方式を採用した理由及び配慮したこと

排煙方式 (Oで囲む) 自然排煙 ・ 機械排煙 ・ その他( )

採用した理由及び配慮したこと :

経済性に配慮して排煙方式は自然排煙とした。

(6) 省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減について、次の①~③の観点から配慮したこと

①パッシブ技術

貸事務室Aの西側に垂直ルーバーを設け、西日に伴う室温の上昇をおさえる計画とした。

②アクティブ技術

屋上に太陽光パネルを設置することで、建物利用時の一部の電気エネルギーを発電によりまかなうこととした。

③その他(創エネルギー技術、材料の選定等)

屋上庭園に設置するベンチに間伐材を使用することで、木材の廃棄をへらし、二酸化炭素排出量を削減した。

(7) 貸事務室A又は貸事務室Bのペリメーターゾーンの断面詳細が分かる図やイラスト等(縮尺1/50程度、フリーハンドでもよい。)及び次の①~③のポイント(全て【イメージ図等記入欄】に記入する。なお、(1)~(6)に記述した内容やその他工夫した点を合わせて記入してもよい。)

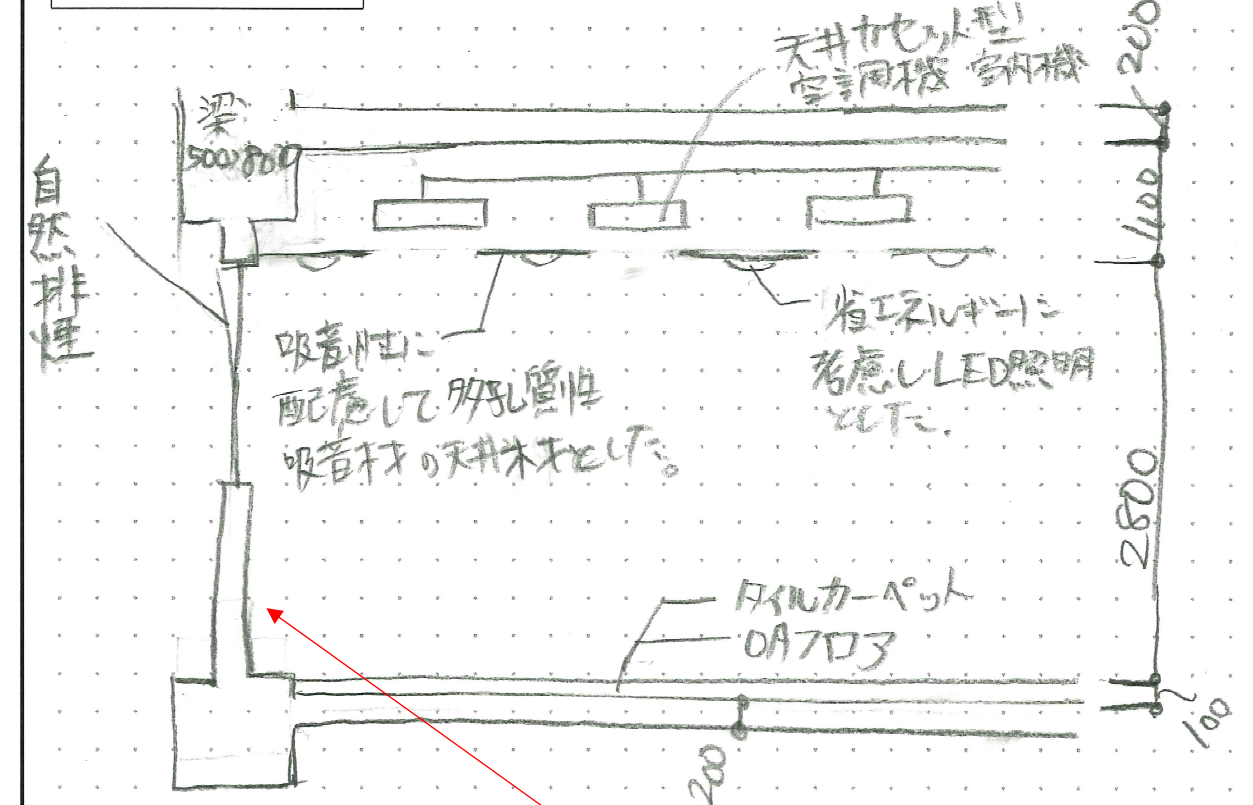
① 建築計画上のポイント(天井高、床高、天井ふところ等の寸法及び内装仕上げ、外装仕上げ等を含む。)

② 構造計画上のポイント(柱、梁、床等の主要な構造部材(見えがかりも含む。))の断面寸法を含む。

③ 設備計画上のポイント(空調、換気、排煙、照明等を含む。)

20時間 20分

【イメージ図等記入欄】



設備知識なくてスカスカ

壁:内装仕上げ材、外装仕上げ材  
本当は壁、床の熱橋に断熱材欲しいが、断熱材入れてしまうと天井ふところが足りなくなる?

20時間 37分

試験場	受験番号	氏名
	□□-□□□□□□	あかね 監督